

# 「一心一矢」



- 広報きもつき vol.246 December 2025
- 二 高山流鏑馬 二〇二五  
近藤颯海真の挑戦
- 六 高山やぶさめ祭を振り返る  
まちの話題
- 八 町からのお知らせ  
お知らせ ほか
- 十三 第一回肝付町農業まつり ほか
- 十四 豚熱ウイルス拡散防止への  
協力をお願いします
- 十五 文化センターからのお知らせ
- 十六 教育委員会コラム
- 十七 学校ニュース
- 十八 楠集中学校・高校だより  
セーフティライフくにみ岳
- 十九 町立病院だより
- 二十 身体が喜ぶハッピーレシピ
- 二十一 本の森
- 二十二 CIRトウの  
ベトナム探訪 ほか
- 二十四 有料広告
- 二十五 「暮らしの便利帳」を  
発行します ほか
- 二十六 子育て支援施設紹介 ほか
- 二十七 人のうごき ほか
- 二十八 暮らしのカレンダー



10月19日、四十九所神社にて「高山流鏑馬」が行われました。「高山流鏑馬」はおよそ900年の歴史を誇る伝統行事です。元は国家安泰、五穀豊穣、悪疫退散を祈願する年占いで、現代でもこの願いが込められています。

狩衣装束にあやい笠を身にまとい、弓受けの儀により神の化身となつた射手は、神馬とともに約330mの馬場を駆け抜けながら、合計9本の矢を射ます。全国的に成人の射が多い流鏑馬ですが、高山流鏑馬は、毎年その年の中学2年生が射手を務めます。

今年の射手は、高山中学校2年生の近藤颯海真君。後射手は昨年射手の高山中学校3年生の武田創君が務めました。二人の若き射手が、たくさんの人々の期待と願いを一身に受け、馬場を駆け抜けました。





## 高山流鏑馬 二〇二五年射手 近藤颯海真の挑戦

### 14歳の挑戦

8月23日、近藤颯海真君は流鏑馬保存会より正式に射手に任命されました。

颯海真君が900年以上の歴史を誇る高山流鏑馬の大舞台へ名乗りをあげたのは、2016年に射手を務めた兄（祐生璃さん）の存在があります。

当時5歳の颯海真君は、兄の勇姿に憧れ当時の映像を何度も見て育ちました。その中で、兄（祐生璃さん）ができなかつた最初の矢を「こもり矢」にすることを目標に射手として挑戦することに決めました。

※こもり矢とは：射った矢が的の中心の竹に当たること。とても縁起が良いとされている。

### 新たな神馬「白流」号との出会い

9月、颯海真君の挑戦がいよいよ始まりました。今年は、白毛が美しい新たな神馬「白流」号を迎えて、流鏑馬保存会や昨年射手の武田創君のサポートを受けながら、練習をスタートさせました。

宮之馬場での練習初日には落馬を経験しながらも、颯海真君は恐れることなく、約2か月の練習を経て射手として成長しました。潮がけの神事では同級生が本番2日前の10月17日、柏原海岸にて快晴で射手を応援しようと家から沿道に出て、拍手を送る人々の姿がたくさん見られました。潮がけの神事では同級生が

駆けつけ颯海真君が無事大役を務める」とを皆で祈願しました。



### その時、少年は神になる

10月19日、ついに迎えた当日。

雨知らずの流鏑馬。多くの人が見守る中、凱旋パレードが始まりました。町中を凱旋中、行く先々では、流鏑馬を一目見ようと待つ人たちが、一行を拍手や声援で激励しました。

奉納前に父の雅彦さんは、「射手は小さい頃からの夢。射手の事は全て兄が伝えてきた。馬も初めてだから一緒に頑張ってほしい」と話されました。

14時から始まった流鏑馬奉納。颯海真君は目標としていた最初の矢を的の中心に命中させ、見事「こもり矢」にしました。その後は、相棒の「白流」号が尻がねるなど落ち着かない様子をみせたため、颯海真君は「白流」号をなだめながらバランスを取り、落馬することなく、最後まで大役をやり遂げました。



10月19日、ついに迎えた当日。雨知らずの流鏑馬。多くの人が見守る中、凱旋パレードが始まりました。町中を凱旋中、行く先々では、流鏑馬を一目見ようと待つ人たちが、一行を拍手や声援で激励しました。

奉納前に父の雅彦さんは、「射手は小さい頃からの夢。射手の事は全て兄が伝えてきた。馬も初めてだから一緒に頑張ってほしい」と話されました。

14時から始まった流鏑馬奉納。颯海真君は目標としていた最初の矢を的の中心に命中させ、見事「こもり矢」にしました。その後は、相棒の「白流」号が尻がねるなど落ち着かない様子をみせたため、颯海真君は「白流」号をなだめながらバランスを取り、落馬することなく、最後まで大役をやり遂げました。



写真提供

石川  
千歳  
弘人

流鏑馬の全ての神事を終え、颯海真君は「くやしい気持ちもあるけど、目標を達成できたのは良かった」と振り返り、兄の祐生璃さんは「自分の夢をかなえてかつこよかつた」と弟を讃えました。家族や保存会の皆さんと記念の写真を撮る頃には、表情も和らぎ、颯海真君はフレッシャーから解放された子どもらしい笑顔を見せてくれました。